

地元の大型工事を積極受注。 終了後も売り上げを安定させる

課題

手作業で生産性が悪く 大量注文に対応できない

有限会社吉岡鉄工所は、瀬戸内海中央部の離島・大崎上島で、基幹産業である造船所の関連工事、民間や官公庁の鉄骨構築物の製作・修繕工事を行っている。

平成25年からは、当地で始まった火力発電所の大型実証試験プラント建設工事に参画。加工済資材の輸送がフェリーに限定される離島で、地の利を活かした受注増加を目指している。建設現場から近く、緊急時の鉄鋼部材切断加工などのニーズが高いからだ。大量受注にも対応するため、高性能機械を導入して生産性向上も図ってきた。

ただ離島で従業員の確保が難しく、仕事の大半は家族で対応せざるを得ない。火力発電所の工事で短納期を求められても、手作業加工の部分で時間を要し、少ロット生産しか対応できず、工事現場に近いにも関わらず、本土の大手鉄工所に負けている状況。しかも火力発電所関連工事は数年後には終了する予定で、その後は受注量減少が予想される。

こうした課題を抱えるなか、同社は技術力を高めて受注先を幅広く確保できる体制構築をする必要があった。

支援

高性能設備導入と 技術力アップをPR

大崎上島商工会では経営改善に向けてヒアリングを重ねた結果、まず火力発電所の工事に積極的に参加することを提案。プラント建設会社が求める部材加工精度向上と納期短縮に対応するため2種類の事業計画書の作成支援を行った。

一つは、小規模事業者持続化補助金（1回目）を活用してCADシステムを導入するための事業計画作成を支援。受注時に受け取る図面には必須条件であったためである。

もう一つは、ものづくり補助金（1回目）を活用して、高性能の自動鋸盤を導入するための事業計画作成を支援である。これにより、精密な形状を生成する鉄骨切断技術力向上と多忙期の短納期を実現した。

さらに商工会ではその後、発電所以外からの売り上げを確保するため、再び小規模事業者持続化補助金（2回目）を活用して、技術力が向上したことをPRするための事業計画の作成を支援し、ホームページによる販路開拓をサポート。ホームページ作成で技術力が認められ、新たな取引先が3社増



切断機などの設備を新たに導入

えた。また経営力向上計画の作成支援も実施。遊休地を利用した太陽光発電事業に進出したいとの同社の意向を受け、事業見込みを検討した。

最近では、さらに受注増を図るため、ものづくり補助金（2回目）をでプラズマ切断機の導入を支援。そして数年後に予定されている火力発電所工事の終了を見越して、その後も持続可能な経営計画の策定を支援。経営革新計画として平成30年7月に承認された。

支援の経過

期間	支援内容
H26年	持続化補助金の申請支援
H27年	ものづくり補助金の申請支援
H29年	持続化補助金・経営力向上計画の申請支援
H30年	ものづくり補助金の申請支援
	経営革新計画の策定支援

会社概要

会社名：有限会社吉岡鉄工所
住所：広島県豊田郡大崎上島町中野4958
電話番号：0846-64-3920
URL：<http://www.yoshioka-tekkosyo.jp/company.html>
代表者名：代表取締役 吉岡敏男
創業年：平成7年
年間売上高：4817万円（平成30年）
従業員数：5名
商工会名・担当者名：大崎上島町商工会・銭亀敦